



【コンセント、プラグ】

- ◎ コンセントとプラグの間にほこりを溜めないようにプラグは、奥までしっかりと差し込むとともに、こまめに清掃をしましょう。

特に家具の後ろや、冷蔵庫、洗濯機など差し込んだままのものや湿気の多い場所で使用しているものは時々確認しましょう。

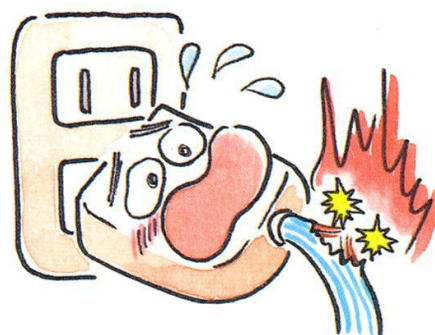
また、ふだん使用しない電気器具のプラグは抜いておきましょう。



トラッキング現象（コンセントに長期間プラグを差し込んだままにするとその隙間にほこりが溜まり、そのほこりが湿気を帯びプラグの刃間で微放電が発生する現象）により発火することがあります。

- ◎ プラグの抜き差しは電源コード部分ではなくプラグ本体を持って確実に行いましょう。

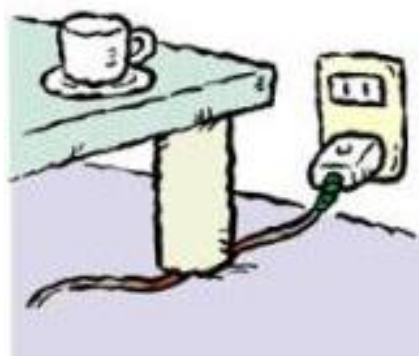
電源コードの被覆の損傷や断線でショートして発火することがあります。



【電源コード】

- ◎ 電源コードの上に家具や机の脚など重いものは置かないようにしましょう。また、被覆に損傷がある電源コードは使用しないでください。

電源コードが圧迫され蓄熱や、被覆の損傷、断線によりショートして発火することがあります。



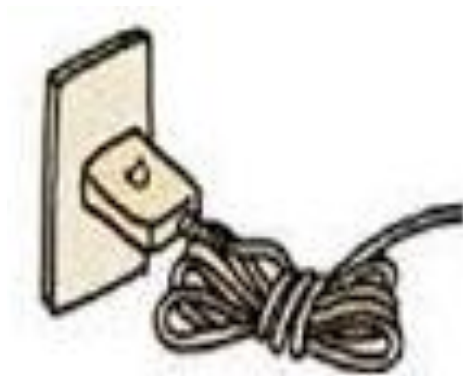
- ◎ 延長コードは許容電流の範囲で使用しましょう。
また、たこ足配線はやめましょう。

電源コードの発熱や被覆の損傷、断線が起こりショートして発火することがあります。



- ◎ 電源コードを束ねたままでの使用はやめましょう。

電源コードを束ねたまま使用するとその部分が発熱し、発火することがあります。



【電気器具、電気配線】

- ◎ 電気器具は適切に取り扱い、定期的に点検清掃をしましょう。また、異常な音、振動、動作、焦げ、臭い等が発生した場合は使用をやめて、メーカーや

販売店で点検してもらいましょう。

内部のコンデンサ、モーター、基板、配線等の部品の経年劣化や使用頻度、場所等の使用環境により、絶縁不良等がおこり発火することがあります。

「製造物」は、販売後に不具合が確認されるものもあり、メーカーや販売元は「社告」として発表していることがあります。その他、リコールの対象製品は、経済産業省のホームページなどで情報公開されていますので参考にしてください。

- ◎ 漏電ブレーカが異常に作動する場合は、屋内配線や電気器具から漏電の可能性がありますので、電気工事店などに点検調査をしてもらいましょう。